

## ①令和5年度県食品ロス・食品廃棄物削減優良活動表彰の実施

### <目的>

食品ロス・食品廃棄物の削減の取組みを県民運動として一層推進するため、食品ロス等の削減について顕著な功績のあるものに対し、表彰を実施する。

### <受賞者(5団体)>

- ・株式会社スギ薬局
- ・JAあおば女性部大沢野支部
- ・株式会社ボン・リブラン
- ・株式会社喜八食品
- ・村上 綾子



【表彰式】

## ②期間近商品の優先購入キャンペーンの実施

### <キャンペーンの概要>

消費、賞味期限の近接した商品の購入が食品ロス削減につながることを消費者に周知し、理解促進を図るため、スーパー等の店頭でポスター、POP等PR媒体を掲示する。

### 【実施期間】

令和5年10月1日～11月30日（一部、10月3日～30日まで）

### 【実施店舗】

スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストア

### 【PR媒体】

ポスター、POP、のぼり旗、プライスカード用おび、店内放送

による啓発



【ポスター】 【のぼり旗】

## ③「食べきり3015運動」推進事業、食べきりサイズメニュー導入促進事業

### <目的・内容>

外食産業における食品ロスを削減するため、宴会等での「食べきり3015運動」を推進するとともに、飲食店における「食べきりサイズメニュー」の導入促進を図る。

### <登録状況(R6.3月末現在)>

食べきり3015運動協力店:692店舗

食べきりサイズメニュー提供店:793店舗



【協力店ポスター】

## ④フードドライブの拡大・定着

### <目的>

家庭由来の食品ロスのうち「手付かず食品」の有効活用策であるフードドライブについて、実施団体への支援等により、県民の認知度向上や拡大・定着を図る。

### <実施内容>

#### ①フードドライブ実施団体への支援

資器材(のぼり旗、コンテナボックス等)の貸出し、食品提供側と受取側のマッチング支援、県HPでのPR

実施件数:103件(66団体により、15市町村で開催)

#### ②食育推進全国大会などでのPR



【食育推進全国大会でのPR】

## ⑤フードバンク活動促進事業

### <目的>

食品関連事業者から発生する未利用食品の有効活用を促進するため、さらなる提供事業者の確保に向けた普及啓発やマッチングの推進を通じて、フードバンク活動の拡大・定着を図る。

### <実施内容>

- ①(一社) 富山県食品産業協会にフードバンク活動コーディネーターを配置
- ②食品提供事業者及び受取側となる福祉団体等への普及啓発、マッチング  
食品提供事業者と受取側とのマッチング件数(R6.3月末現在):119件

## ⑥「とやまのエコフィード」利用畜産物ブランド化推進事業

### <目的>

畜産農家における飼料自給率の向上及び地域内 未利用資源の有効活用を推進するとともに、畜産物の新たなブランド化に取り組む。

### <実施内容>

#### (1)エコフィードの需給マッチングの推進

- ・新たなエコフィードの発掘

#### (2)「とやま和牛 酒粕育ち」のブランド化の推進

##### ①「とやま和牛 酒粕育ち」の生産拡大

- ・R5年度出荷実績 12戸、258頭(R5.4.1～R6.3.31現在)
- ・飼養技術向上研修会の開催(R5.11.14)

##### ②販路拡大・PR活動

- ・名称・ロゴデザイン発表会の開催(R4.7.19)
- ・飲食店・販売店へのPR  
(提供・販売店:飲食店27店舗、販売店10店舗、R6.3.31現在)
- ・食のイベントへの出展やメディア等を活用したPR活動

R5. 10食の王国フェスタ、

R6. 2～R6. 3 飲食店でのキャンペーン(SNSによる宣伝、来場者に抽選で食事券プレゼント) 等

### 【定義】

- ①県内で12カ月以上飼育され、最長飼養地を本県とする黒毛和種
- ②県産の酒粕を出荷前3カ月以上給与
- ③(公社)日本食肉格付協会の実施する牛枝肉格付規格が4等級以上

### 【ロゴデザインの意味するもの】

- ・酒粕を食べて育った和牛をイメージしたシルエット
- ・原料の酒米の「米」の字を放射線状に配置
- ・8つに分割された部分は肉の色を表現
- ・口元の菱形は栄養豊富な酒粕を表現

